

平成26年

泉州南消防組合議会第2回定例会会議録

平成26年 8月11日 開会

平成26年 8月11日 閉会

泉 州 南 消 防 組 合 議 会

平成26年 泉州南消防組合議会第2回定例会会議録

目 次

○第1日（平成26年8月11日）（月）	
○議事日程	1
○出欠議員	1
○説明員職員氏名	1
○職務のために出席した職員氏名	1
○本会議の会議事件	1
○会議録署名議員	2
○開会・開議	2
○会議録署名議員の指名	2
○会期の決定	2
○監査報告第2～7号上程	2
○議案第13号上程	3
平成26年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）	3
根来消防長・提案説明	3
質疑	4
討論	4
採決	4
○認定第1号上程	4
平成25年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について	4
根来消防長・提案説明	4
質疑	5
討論	8
採決	8
○閉会	8

泉州南消防組合議会第2回定例会第1日

(8月11日)

平成26年 泉州南消防組合議会第2回定例会（第1日）

平成26年8月11日（月）

○第1日の議事日程

日程第1		会議録署名議員の指名について
日程第2		会期の決定について
日程第3	監査報告 第2～7号	監査結果報告について
日程第4	議案 第13号	平成26年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）
日程第5	認定 第1号	平成25年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

○議員定数15名

出席議員15名

佐古員規	矢野正憲	奥野学	道工晴久
中村哲夫	野口新一	大庭聖一	高木謙治
仁部順行	中尾広城	田畑仁	成田政彦
見本栄次	有岡久一	三原伸一	

○説明員職員

管理者	千代松大耕	副管理者	竹中勇人	副管理者	福山敏博
副管理者	中西誠	副管理者	原明美	副管理者	田代堯
会計管理者	勘六野正治	消防長	根来芳一	消防次長	北川悟
理事	吉村昭彦	理事	花枝岩夫	理事	清水養一
理事兼熊取署長	松藤忠直	泉佐野署長	戎谷始	市場署長	東昇司
泉南署長	中山均	阪南署長	花石廣	岬署長	正木満
総務課長	小西良昭	予防課長	中西正	警備課長	久保文雄
総務課参事	中川隆仁	総務課参事	奥上文二	総務課参事	中筋浩二
警備課参事	大西保				

○職務のために出席した職員

理事	竹内寛二	課長代理	中川康	主幹	名倉一之
主幹	南川智春	係長	北谷守	係員	脇丸達也

○本会議の会議事件

- ◇監査結果報告について
- ◇平成26年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）
- ◇平成25年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

○地方自治法第123条第2項の規定による会議録署名議員

高木 謙治

見本 栄次

会 議 の て ん ま つ

開会（午前10時00分）

事務局（竹内寛二君）それでは、事務局よりご報告申し上げます。

議会でのご発言時の注意事項といたしまして、お手数ですが、お手元のマイクのスイッチを入れていただき、ご発言が終わりましたら再度スイッチを押して切断していただきますようお願いいたします。

それでは、中尾議長、よろしくお願いいたします。

議長（中尾広城君）皆様、おはようございます。

開会に先立ちましてご連絡いたします。議会にあっては、格式を重んじ、品位をもって臨み、また、他の会議と区別するためにも、本定例会より本会議での発言の際は、関係市町議会同様に、ご起立のうえご発言いただきますようお願いいたします。

それでは、ただ今より平成26年泉州南消防組合議会第2回定例会を開会いたします。

議員定数15名中、出席議員14名でありますので、会議が成立いたします。

議長（中尾広城君）それでは、本日の会議を開きます。

これより議事に入ります。

本日の議事日程は、お手元の一覧表のとおりであります。

議長（中尾広城君）まず、日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

泉州南消防組合議会会議規則第68条の規定により、本会の会議録署名議員として、高木 謙治君、見本 栄次君の両名を指名いたします。

よろしくお願いいたします。

議長（中尾広城君）次に、日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

定例会の会期は、本日1日といたしたいと思えます。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（中尾広城君）ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日1日と決定いたしました。

議長（中尾広城君）次に、日程第3、監査報告第2号から第7号までの監査結果報告についてを議題といたします。

ただ今、議題となっております議案につきましては、監査委員報告つづりのとおり、監査委員から議長あてに報告がありましたので、ご報告いたします。

この報告につきまして、ご質疑なりご意見等ございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（中尾広城君）ないようでございますので、以上で監査結果報告を終わります。

議長（中尾広城君）次に、日程第4、議案第13号 平成26年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

議案の説明を求めます。

根来消防長。

消防長（根来芳一君）それでは、議案第13号 平成26年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、議案書別冊の1ページをお開き願います。

平成26年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによることとし、歳入歳出予算の補正、第1条歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ40万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ45億7,410万8,000円とするものでございます。

また、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、1枚めくっていただいて、2ページから3ページにかけまして第1表歳入歳出予算補正として記載させていただいております。

それでは、説明の都合上、歳出について先にご説明申し上げます。

恐れ入りますが、議案書6ページ、7ページをお開き願います。

款②消防費、項（1）消防費、目1常備消防費、予防活動事業、節19負担金補助及び交付金、啓発推進助成事業補助金といたしまして40万円を計上させていただくものでございます。

次に、歳入についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、4ページ、5ページにお戻り願います。

款④諸収入、項（1）雑入、目1雑入、節1雑入におきまして、コミュニティ助成金40万円を計上させていただいております。

今回の補正につきましては、財団法人自治総合センターが行っています助成制度を有効に活用するため、泉佐野市内の天使幼稚園からの要望を受け、幼年消防クラブが使用する鼓笛隊用楽器一式等の購入費用40万円の助成を申請いたしましたところ、交付の決定通知が届きましたので、補正をお願いするものでございます。

なお、当消防組合管内の幼年消防クラブの数は、泉佐野市が7園のうち公立が4園、私立が3園でございます。泉南市4園、公立が2園、私立が2園、阪南市12園、公立が7園、私立が5園、熊取町が11園、公立5園、私立6園、岬町が5園、公立が4園、私立1園の合計39園でございます。活動といたしましては、幼年期の子供たちを対象に、教育の一環といたしまして正しい火の取り扱いと火災予防に関する知識を養うとともに、広く地域住民に防火思想を普及させるため、防火教室の開催や消防出初め式への参加など火災予防の普及啓発にご協力いただいております。また、今後、他の幼年消防クラブにつきましても、各幼稚園の要望を受けて助成申請を行っていきたいと考えております。

最後に、この補助事業につきましては、財団法人自治総合センターから歳出と同額の歳入があり、組合としての負担はございません。

説明は以上のとおりでございます。よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願いいたします。

議長（中尾広城君）これより質疑に入ります。

ご質疑の点、ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(中尾広城君) ないようでございますので、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(中尾広城君) ないようでございますので、これをもって討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

議案第13号 平成26年度泉州南消防組合一般会計補正予算(第1号)については、原案どおりとすることに賛成の方は挙手を願います。

(挙手全員)

議長(中尾広城君) 挙手全員であります。

よって、議案第13号 平成26年度泉州南消防組合一般会計補正予算(第1号)につきましては、原案どおり可決されました。

議長(中尾広城君) 次に、日程第5、認定第1号 平成25年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

議案の説明を求めます。

根来消防長。

消防長(根来芳一君) それでは、認定第1号 平成25年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算につきまして、事前に配付させていただいております決算書に基づき説明させていただきます。

恐れ入りますが、決算書6ページをお開き願います。

平成25年度泉州南消防組合一般会計は、歳入合計33億324万6,268円、歳出合計33億219万6,268円、歳入歳出差し引き額は105万円でございます。

続きまして、次の7ページからの歳入歳出決算事項別明細書に基づき、詳細をご説明いたします。

恐れ入りますが、8ページ、9ページをお開き願います。

歳入といたしまして、款①分担金及び負担金として、調定額、収入済額とも30億5,742万9,190円でございます。

次に、款②使用料及び手数料といたしまして、調定額、収入済額とも882万650円となっております。

次に、款③府支出金といたしまして、調定額、収入済額とも306万9,656円となっております。

次に、款④諸収入といたしまして、調定額、収入済額とも1億7,280万4,045円となっております。

続きまして、款⑤組合債といたしまして、調定額、収入済額とも5,970万円となっております。

恐れ入りますが、次の10ページ、11ページをお開き願います。

款⑥繰越金といたしまして、調定額、収入済額とも89万6,519円となっております。

次に、款⑧財産収入といたしまして、調定額、収入済額とも52万6,208円となっております。

以上で歳入に関する説明は終わらせていただきまして、引き続きまして歳出に移らせていただきます。

恐れ入りますが、12ページ、13ページをお開き願います。

款①議会費、項（１）議会費、目１議会費といたしまして、予算現額206万2,000円に対し、支出済額137万7,495円、不用額68万4,505円でございます。主な事業といたしまして、議員人件費事業128万5,000円の支出でございます。

次に、款②消防費、項（１）消防費、目１常備消防費といたしまして、予算現額32億2,560万747円に対しまして、支出済額31億9,552万881円、不用額3,007万9,866円でございます。

恐れ入りますが、14ページ、15ページをお開き願います。

主な事業といたしまして、右の備考欄、上から３行目、人件費事業で26億4,240万8,356円の支出でございます。

恐れ入りますが、42ページ、43ページをお開き願います。

同じく、目２消防施設費といたしまして、予算現額１億2,896万3,253円に対しまして、支出済額１億310万4,862円、不用額1,720万8,391円でございます。

恐れ入りますが、44ページ、45ページをお開き願います。

主な事業といたしまして、右の備考欄、下から３段目、消防車両購入事業（市場署）4,580万6,410円で、次に、恐れ入りますが、46ページ、47ページをお開き願います。

右の備考欄、下から３段目、消防デジタル無線整備事業1,732万5,000円などの支出でございます。

同じく、目３災害対策費といたしまして、予算現額295万4,000円に対し、支出済額219万3,030円、不用額76万970円でございます。

主な事業といたしまして、右の備考欄、最下段、原子力防災資機材等管理事業（熊取署）158万9,542円の支出でございます。

恐れ入りますが、48ページ、49ページをお開き願います。

次に、款③予備費、項（１）予備費、目１予備費として、予算現額100万円は未執行でございます。

以上で歳出に関する説明は終わらせていただきます。

最後に、恐れ入りますが、少しお戻りいただきまして、決算書51ページから55ページにかけて財産に関する調書を添付いたしております。内容につきましては、記載のとおりでございますので、説明を省略させていただきます。

以上、甚だ簡単ではございますが、平成25年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算についてのご説明とさせていただきます。

なお、監査委員様より一般会計決算審査意見書が別に提出されておりますので、併せてご参照賜り、ご審議のうえ、ご認定賜りますようよろしくお願いいたします。

議長（中尾広城君）これより質疑に入ります。

ご質疑の点、ございませんでしょうか。

成田議員。

（成田政彦君）それでは、決算に対する質疑をしたいと思います。

１つは、予算の余剰金の各市町村別返納額……

議長（中尾広城君）成田議員、ページ数を教えてください。

(成田政彦君) ページ数は……、いわゆる審査意見書なんかには述べられている決算の中で予算の余剰金の各市町村別返納金を教えてほしいと思います。

2番目は、13ページの職員人件費事業についてなんですけれども、平成25年度職員退職者数及び新採用数は何人か。

それから、P27、予防活動について。これは、平成25年度消防年報の予防編によれば、防火対象物の第6項、イ、ロ、ハ、ニ、病院、老人デイサービスセンターなどの合計数約440件あるが、実際、立入検査実施件数は55件しかない。僕の計算ですよ。その点で、入院患者、病院など、高齢者の安全対策は守られておられるのか、以上3点についてお伺いしたいと思います。議長(中尾広城君) 小西総務課長。

総務課長(小西良昭君) それでは、議員のご質問についてお答えさせていただきます。

私の所管いたします1番目、2番目のご質問についてお答えいたします。

まず、各市町への不用額の返納金の額でございますが、泉佐野市にありましては1,184万5,218円でございます。泉南市におきましては917万5,621円、阪南市におきましては748万8,465円、田尻町におきましては293万5,175円、岬町におきましては369万8,892円、熊取町におきましては554万439円でございます。総額といたしまして、返納金合計額は4,683万810円となっております。

また、25年度中の退職者並びに採用人数でございますが、退職につきましては4名でございます。1名は自己都合退職、もう一名は定年退職、もう一名につきましては早期退職、もう一名につきましては死亡退職の4名ございました。採用につきましては3名の採用をさせていただいております。

以上でございます。

議長(中尾広城君) 花枝理事。

予防担当理事(花枝岩夫君) 議員ご質問の防火対象物数と立入検査の件、特に福祉施設と病院の件でございますけれども、まず1点目、ご了解をお願いしたいのは、立入検査件数のところで平成25年4月1日からというふうに記載しております。これは、消防広域化後の検査件数でございます。したがって、広域化前にそれぞれの各署において検査した実施件数についてはまず掲載をしておらないということにつきましてはご了解をお願いしたいと思います。

そして、2点目なんですけれども、これは、年報はあくまでもその年に行った検査、今のところ、6署ある中で、防火対象物の立入検査の1年に1回とか2年に1回、規模に応じて、それは全て統一をできておりません。そういうことでご理解をお願いしたいと。

この質問につきまして今まで幾度といただいておりますけれども、泉州南消防組合予防行政としては安全は確実に確保をしております。決して不備は許さないということで常時追跡はしておりますので、ひとつご承認を賜りたいと思います。

以上でございます。

議長(中尾広城君) ほかに。

成田議員。

(成田政彦君) まず、予算と剰余金の問題なんですけれども、4,600万円近くの剰余金があるんですけれども、今後、各市町村におかれましては予算の分担金の削減、そういうことは見直しはやられないのか。

2点目、先ほど離退職の数をお伺いしたんですけれども、現在、消防の定員数は、これは消

防白書ですよ、394名で、実員は359名ということで、35名、現在、定足数を満たしていないと。そうすると、現状の採用数では、いわゆる命と暮らしを守る消防活動は十分なのか、その点。

それから3番目、さっきの予防活動についてなんですけれども、統合した後の問題についてはまだ正確に把握されていないということなんですけれども、現状は病院、老人デイサービスセンター、こういうのは現状は生きて活動していますので、スプリンクラー、水を含む消火設備、それから排煙だね、そういう設備は十分に点検されておるのか、もう一度具体的に教えてほしいと思います。

議長（中尾広城君）小西総務課長。

総務課長（小西良昭君）議員のご質問にお答えさせていただきます。

まず、負担金のことにつきましてですけれども、今回、4,060万円程度の不用額が出ております。それにつきましては各3市3町のほうに戻入させていただきました。負担金の見直しにつきましてですが、これは協議会の中で、まず負担金の積み方につきましては、議員もご存じとは思いますが、21年、22年の決算額、常備消防費の決算額です、そして23年度予算額という形で、その経費の、消防負担の経費に対しての率で算定させていただいております。その協議会の中でも3年から5年間をめでに負担のあり方ということについても今後検討していくという形になっておるものでございます。

それから、定員の問題でございますが、まず条例定数につきましては394名ということで、これはもとの4消防本部の条例定数を合算いたしまして条例定数を定めさせていただいております。現在の実員が359名ということで、それとの乖離が大きいであろうと、それで十分な消防力が達成されているかというふうなご質問やと思うんですけれども、まず394名の定員数というのがどうなのかということ、359名が少ないのか、ただ数値的な少なさだけで消防力が満足されていないというのはいかがなものかというふうに考えてございます。359名の職員を有効に活用することによって消防力をさらに向上させることも十分可能ではないかというふうに考えております。そのため、職員の一人一人の資質等を上げていくというような取り組みをもちまして対応をしていくべきかなというふうに考えてございます。

以上でございます。

議長（中尾広城君）花枝理事。

予防担当理事（花枝岩夫君）説明不足があつて、申し訳ございません。

広域化後のことはというのは、実は、それぞれの構成市町で例えば病院の数、工場の数、それらが異なります。したがって、毎年どこかで毎日のように立入検査はしておることは事実でございます。しかし、それを、一斉に同じものを、統一、今は少しにくいというだけで、決して把握していないという意味ではございません。

それと病院の件ですけれども、以前、消防長からも報告させていただいたと思うんですけれども、まず基本的に、当消防組合の予防行政としては、類似火災の防止に徹底を期すという観点で、事故、災害等があれば、そのときは管内一斉に類似施設の立入検査に行つて不備の是正を促すという体制をとっております。これは、福祉施設はもとより病院、今年になって石コンの工場で作業中の管理ミスにより発生したと。そうすると直ちに類似施設を徹底的に追及すると。要は、鉄は熱いうちに叩けということで、まず実施をしております。そういう観点からしますと、そのところは安全は確保できておると。おるというよりも、我々は引き続きそれぞれ追跡をして、安全の確保を追求していくのが予防行政の責務と思っておりますので、ご理

解をお願いします。

以上でございます。

議長（中尾広城君）ほかに。

成田議員。

（成田政彦君）それでは管理者にお伺いします。

先ほどの余剰金の問題なんですけれども、21年度から3年という見直しの問題があるんですけれども、管理者としては分担金については見直しをされるのか、今後。それが第1点。

それから、定員不足の問題なんですけれども、定員数は394人に対して実員は359人と。確かに減るのは毎年減っていくので、採用数は3名ですので、命と暮らしを守る消防活動からこれは本当に十分なのか、その点についてどう考えているのか管理者にお伺いしたいと思います。

議長（中尾広城君）千代松管理者。

管理者（千代松大耕君）成田議員が言われている負担金の見直しというのはどういう意味合いでの見直しかというのが少しわからないので、どのように答弁させていただいたらいいかわからないんですけれども、一定、各市町の負担割合というものを決めておりますので、それに基づいて算出される額を今後も引き続き負担していくべきかなというふうには考えております。その額が、余剰金が出たからといって減らせというような趣旨の質問なら、それはやはり入札差金とか出てきますので、不用額というのは必ず出てまいります。それだからといって、次の年から予算を減らせというのは少し極端なご意見ではないのかなというふうにも思います。

あと、あわせて、定数が十分かというところがございますけれども、基本的に消防の組合を設立させていただいたときには4消防本部の合算による条例定数ということでございますけれども、一定、2年をめぐり、それも本当に、課長からも答弁ありましたように、394名が多いのかということと359名が少ないのかというあわせた議論も今現在、もうそういう部分を踏まえてしている段階ですので、その結論が出たら、またお示しさせていただきたいというふうに考えております。

議長（中尾広城君）ほかに。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（中尾広城君）ないようでございますので、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（中尾広城君）ないようでございますので、これをもって討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

認定第1号 平成25年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について、決算の認定を可とすることに賛成の方は挙手願います。

（挙手全員）

議長（中尾広城君）挙手全員であります。

よって、認定第1号 平成25年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算は、認定を可とすることに決定いたしました。

以上で本定例会の全日程が終了いたしました。

ただ今をもって平成26年泉州南消防組合議会第2回定例会を閉会いたします。

どうもご苦労さまでございました。
閉会（午前10時35分）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 中 尾 広 城

8 番 議 員 高 木 謙 治

13 番 議 員 見 本 栄 次